

平成29年11月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。  
Yahoo! や Google などの検索画面から  
**袋井市議会**を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ  
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

日 程	議員名	質問形式	ページ
1 2月6日 (水)	村井 勝彦	一括	1
午前	大庭 通嘉	一括	3
	伊藤 謙一	一問一答	5
1 2月6日 (水)	田中 克周	一括	7
午後	竹野 昇	一問一答	9
	森杉 典子	一括	11
1 2月7日 (木)	岡本 幹男	一括	13
午前	浅田 二郎	一問一答	15
	佐野 武次	一括	16
1 2月7日 (木)	木下 正	一括	17
午後			

調整の結果、文言の一部が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	2	質問者	<b>村井 勝彦</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>障がい者支援の取り組みについて</b> 第2次障害者計画における施策の取り組み状況について伺う。  (1) 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業の取り組みについて伺う。  ア 本市においていくつの事業所が運営されているか。  イ 運営に係る職員のうち、資格を有する職員は何名程度従事しているか。  ウ 平成24～29年度において、本事業に市はどのような支援を行ってきたか。  エ 本サービスによって、特別な支援を要する子どもや保護者にどのような効果が見られたか。  オ 本計画に掲げられた基本計画の各施策に関して、どのような検証を行い、その検証結果に基づき、次期障がい者計画に活かしていくか。  (2) 市営住宅のバリアフリー化の推進について伺う。  ア バリアフリー化に係る事業はどの程度実施し、障がいのある人に生活しやすい住宅の供給が図られたか。  イ 現在実施している長寿命化工事に併せ、段差の解消や浴室などの住宅設備の改修を行うべきと考えるがどうか。				市長
<b>2</b>	<b>中心市街地活性化への取り組みについて</b> 駅前地区、駅南地区における中心市街地における活性化対策について伺う。  (1) 従来から数多くの活性化に向けた調査、計画づくりが行われているが、その調査結果に基づきどのような対策を行い、また、活性化対策により中心市街地の活性化は図られたか。  ア これまで多くの調査や計画づくりを行ってきたが、この調査結果等をどのように検証したか。  イ 駅北地区と駅南地区との連携や相乗効果についての考えはどうか。				市長

質問順序	1	議席番号	2	質問者	<b>村井 勝彦</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
	ウ 今後、袋井駅を中心とした市街地の活性化についての考えはどうか。				市長
<b>3</b>	<b>浸水地域における防災対応について</b> 大雨による浸水地域の防災対応について伺う。				
	(1) 久津部西地区の大雨により浸水する地域における防災対応は、適切に行われているか。				市長
	.....				.....
	(2) 村松地区において、大雨による道路の浸水箇所の通学路などの対応はどのようなようになされているか。				教育長

質問順序	2	議席番号	20	質問者	<b>大庭 通嘉</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>政治姿勢について</b> 本市財政は、類似団体他市との比較の中でも厳しい状況にある。市長の来年度予算編成、組織編成方針を伺う。  (1) 市長が進める贅肉のない筋肉質な予算、組織とは。  (2) 平成30年度の予算・組織編成方針の考え方は。  (3) 平成39年度までの10カ年財政見通しと考え方は。				市長
<b>2</b>	<b>治水問題について</b> 今年も全国で水害が多発した。市内各地においても台風などの影響で4回に及ぶ水害が発生し、関係住民からは早急な対策が求められている。  (1) 水防法一部改正による洪水・内水・高潮対策は。  (2) 豪雨災害対策アクションプラン等の進捗と成果は。  (3) 本市における今年の水害被害の実態と、その対策は。  (4) 蟹田川（彦島大橋・松橋川合流部等）改修の進め方は。  (5) 松橋川改修計画の前倒し及び見直しの考えは。  (6) 川井西第一の内水排水ポンプの改良等、考えはあるか。  (7) 土砂災害対策の危険箇所の指定と、被害の対策は。				市長
<b>3</b>	<b>マイナンバーカードについて</b> 今年からマイナンバーによるコンビニ交付が始まった。国では様々なサービスが計画されているが、本市の将来を見通した計画的対応をどのように考えているか。  (1) 本市におけるマイナンバーカードの利用実態は。  (2) カードの交付率県下最下位の具体的な改善策は。  (3) 国のロードマップに対応した本市の進め方は。				市長

質問順序	2	議席番号	20	質問者	<b>大庭 通嘉</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>4</b>	<b>環境問題について</b> 国本の廃家電問題を教訓に、まちを美しくする条例制定の精神に基づいて、良好な生活環境の保全を進めるべく、早い段階での行政対応が求められている。  (1) 国本の廃家電行政代執行、その後の市の進め方は。  (2) 袋井地区の巨大コンテナ設置の経過と市の対策は。  (3) まちを美しくする条例に触れる他事案や市民からの指摘、問い合わせはあるか。				市長

質問順序	3	議席番号	13	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>本市の国際化（グローバル化）に向けて</b></p> <p>本市の国際化に向けた政策は確実に以前より歩を進め、各分野の政策で着実に認知度と成果が出つつあると感じている。しかし、今後も本市の政策の大きな特徴としてまちの国際化が挙がるように、また2020年東京オリンピック終了時点でまちの国際化が本市のレガシーとなるように、提言を含めて市長に改めて伺う。</p> <p>(1) 本市の国際化政策「ふくろいまるごとインターナショナル」について</p> <p>ア ふくろいまるごとインターナショナルホームページ開設後の訪問者の推移は。また、どのような反響を得ているか。</p> <p>イ 2018年はラグビーW杯の前年となり、本市の今一層の国際化（ふくろいまるごとインターナショナル）に向けた取り組みを期待している。ハローフレンド、英語教育の拡充、姉妹都市ヒルズボロ・ベトナムとの周年事業、また各他団体や歌手ニコラス・エドワーズとの事業を含め、今後の市の国際化に向けた取り組みをどのように考えるか。2018年度以降の具体的事業及びその目的・目標を伺う。</p> <p>ウ 総務省は、JETプログラムにて派遣されているCIRがまちの国際化に関する業務のみに関わっていることが多い現状から、自治体・地域おこし関係者とJET青年の交流を通じて、グローバルな視点を持った地域活性化を目的とした「JET地域国際化塾」を平成27年に開催している。まちの国際化を目的として、現在企画しているCIRとの交流イベントであるが、幅広い年齢層や団体との交流が考えられないか。</p> <p>エ 現在のCIRの存在を活かし、国際交流協会の行う米国ヒルズボロや袋井高等学校のオーストラリアへの学生派遣以外に、学生派遣事業を提案するがどうか。</p> <p>.....</p> <p>オ 市内小中学校において、英検チャレンジやALTの拡充を行い英語教育に力を入れている。しかしながら、今後さらに「話す・表現する・聞く英語」を実践する場の提供が必要だと感じることから、本市の今後の英語教育の展開を伺う。</p>				<p>市長</p> <p>.....</p> <p>教育長</p>

質問順序	3	議席番号	13	質問者	<b>伊藤 謙一</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>(2) 市の多文化共生体制に関して</p> <p>ア 現在、数人の外国人職員が庁内で就労している。しかし、市内で約4,000人の外国人居住者がいること、市の国際化を推進することや言語対応の面から、一層の外国人人材の就労や研修の受け入れは今後必要ではないかと考えるがどうか。</p> <p>(3) 市のインバウンド事業に関して</p> <p>ア 本市を訪れる外国人旅行者の推移及び特徴は。</p> <p>イ 外国人旅行者を本市に滞在させることを目的とした観光施策が必要だと考える。本市への宿泊を希望する外国人旅行者に対して、宿泊補助が検討できないか。</p>					市長



質問順序	4	議席番号	10	質問者	田中 克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>期日前投票について</b> 10月22日、第48回衆議院総選挙が行われ、全国的な投票率の低さが指摘される一方、期日前投票の伸びが話題となった。袋井市においても、期日前投票率は24.79%と高く、全国平均の20.1%を上回った。そこで、期日前投票について伺う。  (1) 特に、投票日前日の土曜日には大変な混雑となり、30～40分待ちの状態でした。実際の対応状況と、今後のこの緩和策について伺います。  (2) 今回の期日前投票の増加を受けて、今後の対応をどのようにお考えでしょうか。  (3) 「あえて投票に行く」のではなく、「ついでに行く」ことができるショッピングセンターなどを期日前投票所とすることにより、投票率低下の歯止めになると考えるがどうか。				市長
<b>2</b>	<b>市役所駐車場について</b> 袋井市役所の駐車場について、利用する市民からいろいろな意見が聞かれます。そこで何点かお伺いします。  (1) 庁舎北側の一般利用客用の駐車場を利用する場合、どの列に空きスペースがあるのか分かりづらいため、誘導員を配置できないか。  (2) 1台当たりの駐車スペースの幅が狭いため、ドアを開ける際に隣の車のドアに接触するなどのトラブルが発生しています。白線の引き直しを希望しますが、見解をお伺いします。  (3) 駐車の方法を「斜め前進駐車」とした場合、高齢者や女性などにとっては大変駐車しやすいと思いますが、現在の駐車方法に比べ、駐車台数の増減はどうか。また、その場合のメリット・デメリットをどう考えますか、お伺いします。  (4) 駐車場東側にある駐輪場及びその北側の空き地を一体的に整備し、駐車場の拡張を提言しますが、どうか。  (5) 閉庁日に民間団体等が研修や旅行、スポーツ大会参加などのため、駐車場の借用を希望するが、当局の方針を伺う。				市長

質問順序	4	議席番号	10	質問者	田中 克周	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<b>防災について</b> 過去に大規模な風水害、地震、津波を経験した15市町村長が取りまとめた「災害時にトップがなすべきこと」（平成29年4月）についてお伺いします。  (1) 率直な表現で、単刀直入にまとめられたこの提言について、原田市長の感想と御意見をお聞かせください。  (2) 提言では、トップは、災害への覚悟をもって自らを磨くことが必要であると述べています。原田市長はトップとして、危機管理をどのように研修していくつもりでしょうか。また、市長の判断を支える専門家や経験者等の体制の整備は、どのようにお考えでしょうか。				市長	

質問順序	5	議席番号	5	質問者	<b>竹野 昇</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					答弁者
<b>1</b>	<b>袋井商工会議所に駅北口市有地（駐輪・駐車場）を貸与する問題</b>				市長
	<p>(1) 袋井商工会議所から11月21日に市長・議長に提出された「袋井駅北口市有地開発事業計画」の位置づけ</p> <p>これは、袋井商工会議所（どまんなか袋井まちづくり株式会社）が立案したものであり、袋井市が立案・作成したものでないと考えるが、市長はこの計画をどう位置付けているか。</p> <p>(2) 市営駐輪・駐車場の所有権（運営・経営権）</p> <p>ア 商工会議所から提出された計画では、市営駐輪・駐車場の所有者は「どまんなか袋井まちづくり株式会社」となっている。所有権の移転については、まだ一度も議会で議論したことがないし、認めたこともない。にもかかわらずこのように記載されていることについて、市長はどう考えるのか。</p> <p>イ 市有地の貸与については、その是非はともかくこれまで議会でも取り上げられてきた。駐輪・駐車場の所有権（運営・経営権）の移転は、新たな問題であり、次に取り上げる市の財政問題に関わる重大事項であると考え。慎重な検討が必要と考えるが、市長の考えを問う。</p> <p>(3) 市民の理解が得られるのか</p> <p>市財政が厳しい中、駐輪・駐車場の所有権（運営・経営権）を失うことは、10年間で4億円以上、30年間で12億円以上の収入を失うことになる。一方、商工会議所の計画では、事業収入として駐車場収入5000万円余（年）を見込んでいる。</p> <p>他人の土地（市民の土地）で「どまんなか袋井まちづくり株式会社」が利益を上げ、袋井市がこれまでの収入を失うことは、到底市民の理解が得られないと思うが、市長はどう考えるか。</p>				
<b>2</b>	<b>来年度予算編成</b>				市長
	<p>(1) 9月議会に出された袋井市財政見通しでは、来年度地方債借り入れ額は47.1億円となっている。借り入れ額の減は歓迎するが、増えるのは困る。来年度予算編成で、借り入れ額が増えることはないか。</p> <p>また、来年度の事業計画で、31年度以降の地方債借り入れ額を押し上げる事業が入ることは問題だと考えるが、そのような事業計画が入る心配はないのか。</p>				

質問順序	5	議席番号	5	質問者	<b>竹野 昇</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
	(2) 教育・福祉関連の予算は、市民サービスと直結している。6億円収支改善計画のために、教育・福祉分野の7%カットは行うべきでないと考ええる。少なくとも今年度予算額を維持すべきだと考えるが、教育長・福祉分野の責任者・市長の考えを問う。				市長
<b>3</b>	<b>教職員多忙化解消対策</b>				教育長
	<p>(1) 夏休みお盆前後1週間程度学校閉庁の検討</p> <p>教職員の多忙化による心身の疲労を回復する一つの方法として、夏休みお盆前後1週間程度、学校を完全に休みにして、教職員がまとまった休みが取れるようにすれば、心身のリフレッシュにつながる。その期間、冷房や照明の電気代も節約できる。来年度実現に向けて検討してもらいたい。教育長のお考えを問う。</p> <p>(2) 部活動外部指導員（顧問）の制度化の検討</p> <p>全国的に部活動指導による教職員の多忙化が問題となっている。静岡市では、教員と対等な立場で指導できる「外部顧問」のライセンス制度を来年4月から導入する。袋井市でもこの制度の導入に向けて検討したらどうかと思うが、教育長の見解を問う。</p> <p>また、部活動で教員を補助し、主に技術面で生徒を指導する「外部指導員」は、現状は各学校の校長が依頼し、ボランティアの善意に頼っている。これを教育委員会の責任で、募集・面接・採用・研修を実施し、手当を充実させることができないか。教育長のお考えを問う。</p>				
<b>4</b>	<b>市職員人事</b>				市長
	<p>(1) 一般職の異動の年数</p> <p>市職員の業務が複雑・専門化し、異動するたびごとに新しい仕事に精通するまで時間がかかる。現状では仕事に慣れ、いい仕事をやろうと意欲を燃やす頃、人事異動となる。意欲と責任を持って一つの仕事をやるのに、3～4年での人事異動は短いと考える。5年前後を基準にしたらどうかと思うが、人事責任者の見解を問う。</p> <p>(2) 管理職人事</p> <p>異動の年数は一般職と異なるのは理解するが、あまりに短いのは責任を持った仕事を遂行する妨げになる。本人がこの仕事を続けたいと意欲を燃やしている場合、多少長くなってもよいと考えるが、市当局の見解を問う。</p>				

質問順序	6	議席番号	1	質問者	<b>森杉 典子</b>	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
<b>1</b>	<b>県立高校の発展的改編（案）を受けて</b> まち・ひと・しごと総合戦略において、未来を拓く「遠州商人」の育成に向け、県立袋井商業高等学校5年制化を提唱し、実現に向け県並びに県教育委員会に働きかけている中、県教育委員会から10年後の2028年度を見通し、県立高校の在り方を示す「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」が策定中であり、県立高校8校の発展的改編（案）が公表されました。このことから、学校・家庭・地域・産業界・行政等が連携し、次代の郷土をつくる人材の育成を進める上でも、市内2高校の存在意義を再認識し、連携・協働による教育活動を通じた地域振興・再生の在り方を探る上でも、市内2校への振興・支援策への取り組みが必要と考えます。				市長	
	(1) 県教育委員会の改編（案）策定を受け、地域のまちづくりに向けた高校の存在意義を含め、市内2校への思いを伺います。					
	(2) 市の要望を受け、県に商業教育高度化対応研究会が設置されました。商業教育の在り方と方向性について、どのような意見が出され検討されているのか伺います。					
	(3) 次代の郷土をつくる人材育成に向け、市内小中学校と市内2高校、理工科大学との教育連携に向けた取り組みが必要と考えます。市の見解を伺います。					
	(4) 学校を核とした地方創生（地域活性化）への取り組みにおいて、市内2高校に望むことは何か伺います。また、足腰の強い地域づくりに向けた先行投資としての取り組みに向け「市内2校振興対策協議会」を教育委員会に設置することを提案します。市の考えを伺います。					
<b>2</b>	<b>産後ケアについて</b> 次世代を担う子どもたちを安心して産み育てられる袋井市を目指すため、その一環として精神的に不安定になりがちな出産後の女性をサポートする「産後ケア」の取り組みが必要と考えます。				市長	
	(1) 産後うつの予防や乳幼児虐待予防のための「産後ケア」の更なる充実が必要と思われませんが、市の考えを伺います。					
	(2) 産前産後をサポートする人材の育成も重要と考えます。育成講座などの取り組みを伺います。					
	(3) 妊娠から出産、育児まで切れ目なく支援する「ネウボラ事業」の取り組みについて、市の考えを伺います。					

質問順序	6	議席番号	1	質問者	<b>森杉 典子</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3 障害者（児）等日常生活用具給付事業について</b> 市では、在宅の障がい者（児）が家庭生活を営む上で不便を解消し、自力で生活を営むことを容易にするため、用具等の給付事業を行っています。安心して必要な支援が受けられるように、更なる利用者へのサポートが必要と考えます。  (1) 日常生活用具の品目のうち継続支給の用具については、対象者に案内を出すなどの対応について、市の考えを伺います。					市長

質問順序	7	議席番号	14	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>歴史的資産の顕彰表示について</b> 平成29年は、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の舞台となったことで、県西部地方は歴史的資産によって観光振興が実現できた年となった。そこで、これからの観光資源として、学習教材として、市民の公園施設として、袋井市内の歴史的資産の顕彰表示について、次の4点を伺う。				
	(1) 馬伏塚城、岡崎城は、戦国時代徳川家康と武田勝頼との駿河・遠江攻防戦の前線となった城である。ところが、これらの史跡には馬伏塚城本丸付近の案内板があるのみで、顕彰表示の施設が非常に乏しい現状にある。曲輪や堀の案内等の表示施設を増設すべきと考えるがどうか。				教育長
	(2) 浅羽佐喜太郎公記念碑建立100周年がいよいよ平成30年に迫っており、記念事業実行委員会には記念の銘板を作成設置したい意向がある。これを現在展示物がある近藤記念館付近や浅羽記念公園などに設置してはどうか。				.....
	(3) 現在工事が進んでいる防潮堤の活用については「袋井幸浦の丘プロジェクト」として検討されているが、意見の反映を地元以外にも広げる考えはないか。公園として整備されるとき、地曳網船での地曳網漁や伊勢参りの歴史、唐船難破と救助の歴史など、歴史的資産として顕彰表示すべきと考えるがどうか。				市 長
	(4) 馬伏塚城には学習の一貫として訪れる児童生徒も多いと聞く。戦国大名の攻防のみならず、兵農分離がなされていない時代の庶民の生活、水城として城下まで船での輸送が可能であった当時の地形などを歴史的教材として活かすことはできないか。同様に、植民地支配とベトナム独立までの歴史、かつての半農半漁の庶民の生活とお伊勢参りの役割、江戸時代の唐船の往来なども郷土の歴史的教材として活かさないか。				教育長
<b>2</b>	<b>環境整備について</b> 袋井市が平成29年度施政方針にある「自然と都市基盤が調和した快適なまち」として誰もが住みやすくなるための環境整備について、次の3点を伺う。				市 長
	(1) 浅羽海岸北の松林は、グリーンウェーブ作戦により害虫に強い松の苗を選定し、市民の手による植樹を実施した。ところが、順調に生育した湊・太郎助・中新田東地区に比較し、大野・中新田西地区・東同笠地区はマツクイムシによるとみられる松枯れ部分が顕著な状態にある。この原因と、枯れた松の伐採や松以外の植樹を含む今後の対応策について伺う。				





質問 順序	8	議席番号	15	質問者	浅田 二郎	
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》						答弁者
1	<b>上石野・下石野・祢宜弥地域の児童の通学について</b> 上石野・下石野・祢宜弥の児童は、路線バス・JR列車により袋井南小学校へ通学している。  (1) 交通手段による通学の現状と、来年度以降の予測はどうか。  (2) 路線バス等による多くの児童の通学を基本的にどう認識しているか。  (3) 市の副次核としての愛野駅周辺のまちづくりの観点から、路線バス等による通学は異常ではないか。  (4) 路線バス等による通学が、幼少児を持った若い世帯の流出という市の課題の要因としての認識はあるか。  (5) 保護者の通学費負担の状況はどうか。就学援助対象者世帯以外への通学費助成も当然と思うが。  (6) スクールバスによる通学が、市としての教育環境整備の基本であり、必須と思うが。					教育長
2	<b>市営墓地について</b> 市営「夢の丘墓園」が建設され、墓地の販売も開始されてきた。しかし、計画当初とは市民の「墓地」に対する考え方等も大きく変化してきている。  (1) 墓地建設及び墓地販売の進捗状況はどうか。また、これまでの計画に変更・改善はあるのか。  (2) 7月1日より、市外の方の購入や複数区画の購入に幅を広げた改正墓地条例が施行された。その後の販売の状況はどう変化しているか。また、今後の見通しはどうか。  (3) 複数区画に一つの墳墓が設置された。「同一区画」は、公的墓地の特徴と思うがどうか。  (4) 墓地条例施行規則では、「1墓所につき1基」と規定され、「市長が特に必要と認める場合は除く」となっている。この場合の「特別な必要性」とは何か。  (5) 今回のケースは、7月前の販売区域であり複数区画が購入できないところだ。設置経過に問題はないか。					市長

質問順序	9	議席番号	3	質問者	<b>佐野 武次</b>	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
<b>1</b>	<b>シニアクラブ袋井市の課題と対応</b> シニアクラブ袋井市の活動が行われているが、現状、運営面等において、様々な課題を抱えている。 <p>(1) 新規会員の確保が難しく、また、役員ともなれば、クラブ活動以外での負担も多く、引き受け手がなく、やむなく解散するクラブや退会するクラブもある。ニーズを捉えた新たな活動の企画や新規会員の勧誘などを進めているが、シニアクラブ袋井市のみでの対応は難しい状況にある。これらの課題の改善に向けて、シニアクラブ袋井市との連携の下に、対応を検討されていく考えはあるか伺います。</p> <p>(2) 運営にあたっては、市の補助金等により運営しているが、未加入のクラブにも交付されており、補助金を受けないクラブを含めると、1市3制度の状況にある。組織立った高齢者福祉活動や防災面での高齢者への対応などを考えれば、未加入のクラブも含めて組織活動を一本化していくべきで、シニアクラブ袋井市に加入する意義の面からも、その必要性について疑問も生じることとなるが、市の考えを伺います。</p> <p>(3) 公民館のコミュニティセンター化が始まり、高齢者に係わる事業も予定されているが、今後においては、シニアクラブ活動の軸足を、どこに置いて展開されようとしているのか伺います。</p>				市長	
<b>2</b>	<b>農業部門における事業継続計画（BCP）の策定</b> 農業部門では、様々な要因から、市独自で事業継続計画を策定していくことは難しい面もあるが、農業に従事する方々に安心感を与えるために、基本的な方針を示す必要がある。 <p>(1) 県の指導により土地改良団体では策定済みだが、内容的には課題もある。このため、関係する団体や農家を中心に、農業の事業継続計画について、少なくとも基本的な対応方針等を検討しておく必要がある。市の考えを伺います。</p>				市長	
<b>3</b>	<b>近藤記念館の充実</b> 施設全体の状況を見ると、必ずしも充実しているとは感じられない。郷土の歴史を学び、後世に継承していくためには、拠点となる施設を備えておくことが必要。 <p>(1) 「常林寺」の石碑の拓本や関係する品々の展示。また、多言語表記による、本市の観光地並びに産業を紹介するコーナーなどを設置することにより、新たなベトナムとの産業や観光における交流機会の創出が図られ、来館される方々にとっても、大変満足できる記念館とすることができると思うが、市の考えを伺います。</p>				教育長	

質問順序	10	議席番号	4	質問者	木下 正	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
<b>1</b>	<b>長寿しあわせ計画の達成のための対策について問う</b> 袋井市では、地域包括ケアシステムの構築のための更なる機能強化と推進体制の充実により、介護予防やしあわせな長寿を図っているところである。計画の趣旨や調査結果について問う。  (1) 計画策定の趣旨の中に「高齢者同士が支え合う」となっているが、支え合いを地域で自主的かつ継続的に行っていくためにはどうしたらよいかを問う。  (2) 調査結果を見ると、後遺症により要支援になる可能性が高いのは、骨格筋の病気が多い。介護、介助が必要となった主な原因の多くは、骨折・転倒から来ている。糖尿病対策も必要だが、この結果をどのように捉え、どのような対策を考えているかを問う。  (3) 「生きがいを感じる時」の内、「健康づくりやスポーツをしている時」と答えた人は、全体の9番目で目立たないが、「今後健康づくりやスポーツをやってみたい」と答えた人は全体の2番目であるが、どう分析し判断するかを問う。  (4) 「若い頃からの介護予防を推進する」とあるが、袋井市では30代の女性が運動不足となっている現状があるが、何歳ぐらいを基準として想定し、具体的にどのような対策を行う予定であるかを問う。  (5) 以上の問題解決の一方法としてスポーツの推進が考えられるが、ニュースポーツ用具の数量も不足し、また、市内各施設に点在している現状があり一元管理できていないが、その対策を問う。				市長	
<b>2</b>	<b>教職員の指導体制充実対策を問う</b> 新聞等により、教員の免許更新について「迫る『18年問題』対象者倍増、受講困難」との記事が掲載された。また、袋井市は公立幼稚園等の臨時職員募集をかけているが苦戦している。そしてさらに、外国語教育や道徳教育など今まで小学校ではなかった科目が増え、幼小中一貫教育を目指している袋井市として、教育現場はかなり頑張りが必要な状況であると思われる。  (1) 昨年度対策した学力向上対策事業と、本年度行われた全国学力・学習状況調査結果の費用対効果を問う。  (2) 「学校における働き方改革」に基づく教員業務の見直しは進んでいるか、現状を問う。				教育長	

質問順序	10	議席番号	4	質問者	<b>木下 正</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
	<p>(3) 来年度から「特別の教科 道徳」と位置づけされることに関する教職員への効果的な指導対策と、児童生徒への対応を問う。</p> <p>(4) 「特別の教科 道徳」の通信簿等に反映するための評価方法を問う。</p>				教育長
<b>3</b>	<p><b>駅南地域の安全・安心対策</b></p> <p>4月から始まった平成29年度も8カ月を過ぎ、6月議会定例会からも約半年を過ぎた。そこで市道田端8号線の道路整備の現状を問う。</p> <p>(1) メディカル地区開発による自動車通行の増加に対する住民の安全・安心対策を問う。</p> <p>(2) 環境共生エリアとして遊歩道等の都市基盤整備の今後の計画を問う。</p> <p>(3) 道路の適切な維持管理をすとの答弁であったが、どのような維持管理をしたかを問う。</p> <p>(4) 部分改良や路肩の補強はできたかを問う。</p> <p>(5) 歩行者や自転車への安全性の確保のため、自動車の通行を制限し、自転車道と歩道だけの道路にできないかを問う。</p>				市長